

M16Cファミリ用Cコンパイラパッケージ ご使用上のお願い --ビット単位のand演算子でvolatile修飾した変数を 使用する際の注意事項

M16Cファミリ用Cコンパイラパッケージの使用上の注意事項を連絡します。

- ビット単位のand演算子でvolatile修飾した変数を使用する際の注意事項

1. 該当製品

- (1) R32C/100シリーズ用Cコンパイラパッケージ V.1.01 Release 00
 - (2) M32Cシリーズ*1用Cコンパイラパッケージ (M3T-NC308WA)
V.1.00 Release 1 ~ V.5.41 Release 01
 - (3) M16Cシリーズ用*2Cコンパイラパッケージ (M3T-NC30WA)
M3T-NC30WA V.3.10 Release 1 ~ V.5.44 Release 00
- *1 M32C/80、M16C/80、およびM16C/70シリーズの総称です。
*2 M16C/60、/30、/20、/10、/Tiny、およびR8C/Tinyシリーズの総称です。

2. 内容

volatile修飾した変数と1ビットのみ立っている2の累乗定数とのビット単位のand演算結果で条件分岐すると、volatile修飾している変数の一部をアクセスしないことがあります。

2.1 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

- (1) オプション -O[1-5]、-OR、および -OSのいずれかを使用している。
- (2) volatile修飾された変数がある。
- (3) if文の制御式で、(2)の変数と定数とのビット単位のand演算をしている。
- (4) (3)のand演算で使用する定数は、1ビットのみ1である(2の累乗である)。

2.2 発生例

```
#pragma BIT v
extern volatile unsigned int v;
extern unsigned int i, j;
void func(void)
{
    if (v & 0x0004U) { // btst 02H,_v を生成、バイトアクセスする
        i = j;
    }
    j = 0;
}
```

3. 回避策

volatile変数を直接and演算に使用せずに、一時変数を作成しvolatile変数の内容をロードし、一時変数と定数でand演算をしてください。

```
#pragma BIT v
extern volatile unsigned int v;
extern unsigned int i, j;
void func(void)
{
    unsigned int tmp; // 一時変数を作成
    tmp = v; // ワードアクセス
    if (tmp & 0x0004U) { // 一時変数とand
        i = j;
    }
    j = 0;
}
```

4. 恒久対策

次バージョンで修正する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。